

平成 25 年度 障害学生支援セミナー【7】
～筑波障害学生支援研究会～
実施要項

1. テーマ：

障害学生支援とテクノロジー

2. 目的：

日本学生支援機構は、障害学生支援について積極的な取組を実施している各地区の拠点校と協力して、「障害学生修学支援ネットワーク事業」に取り組んでいます。その一環として、拠点校を中心としたセミナーを各地区にて順次実施し、障害学生支援に関する情報を広く提供することにより、障害学生支援の質の向上に資することを目的としています。

3. 内容：

本セミナーは、普段障害学生が使用しているツールからハイテクまでを幅広く「テクノロジー」として捉え、「障害学生支援とテクノロジー」をテーマにして、日本学生支援機構、筑波技術大学、筑波大学が共催で、全国の高等教育機関の教職員等を対象として実施します。

なお、「筑波障害学生支援研究会」は、日本で唯一の聴覚障害者・視覚障害者を対象とする高等教育機関である筑波技術大学と、日本学生支援機構の拠点校である筑波大学が共催で行なっており、昨年度、今年度と日本学生支援機構も共催に加わっている研究会です。今年度は「平成 25 年度障害学生支援セミナー【7】」として実施します。

4. 主催：

独立行政法人 日本学生支援機構

国立大学法人 筑波技術大学

国立大学法人 筑波大学

5. 開催日時：

平成 25 年 12 月 17 日(火) 10 時 30 分から 17 時 00 分 (受付開始 10 時 00 分)

6. 会場：

つくば国際会議場 中ホール 300 (受付) 他 (別紙 1 を参照してください)

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2 丁目 20 番 3 号 TEL 029-861-0001 (代表)

アクセスは <http://www.epochal.or.jp/access/index.html> を参照

7. 参加対象：

全国の高等教育機関、及び関連機関 (高等学校を含む) の教職員、関連企業関係者、学生等

8. 参加費：

無料

9. 情報保障：

パソコン要約筆記、手話通訳、資料の電子データ・点字版、座席の指定・誘導等の準備をいたしますので、必要な情報保障を申し込みフォームにご記入ください。

上記以外の情報保障を希望される方はご相談ください。

※申し込みについては、「12. 申し込み方法」を参照してください。

10. 定員：

200名（先着順）

11. プログラム：

総合司会 須藤 正彦（筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター長）

10時00分 受付開始（中ホール300）

10時30分 開会、主催者・来賓挨拶（中ホール300）

1. 筑波技術大学 学長 村上 芳則
2. 筑波大学 副学長（学生担当） 清水 一彦
3. 日本学生支援機構 学生生活部 副部長 小山 晴己
4. 文部科学省 学生・留学生課 課長補佐 辻 直人

11時00分 基調講演（中ホール300）

「サイバニクスが拓く障害者向け支援技術の可能性」

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授

筑波大学 サイバニクス研究センター センター長

CYBERDYNE 株式会社 代表取締役社長／CEO 山海 嘉之

12時00分 昼食休憩（60分）

※障害学生支援に使用する機器の展示スペースを設置

（多目的ホールにて15時30分まで展示予定。出入り自由）

13時00分 セミナー1、2（※出入り自由）

1. 聴覚障害（中会議室201）

進行：河野 純大（筑波技術大学産業技術学部 准教授）

「T-TAC Caption を利用したろうの高校生への遠隔文字情報支援実践研究」

玉田 雅己（NPO法人バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター
代表理事/公益社団法人こども環境学会 理事）

「筑波大学の聴覚障害学生支援におけるコーディネートアシストシステム（CAS）の活用」

有海 順子（筑波大学障害学生支援室 助教）

阿久津 博紀（筑波大学聴覚障害学生支援チーム 学生スタッフ）

金井 しおり（筑波大学聴覚障害学生支援チーム 学生スタッフ）

2. 発達障害（中会議室 202）

進 行：野呂 文行（筑波大学人間系 教授）

「発達障害学生の理解と支援の実際」

岡崎 慎治（筑波大学人間系 准教授）

「なぜ知能検査を受けるべきなのかー問題の原因と対応の探求ー」

大六 一志（筑波大学人間系 教授）

14 時 00 分 休憩（10 分）

14 時 10 分 セミナー 3、4（※出入り自由）

3. 視覚障害（中会議室 201）

進 行：飯塚 潤一（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター 教授）

「弱視学生にとっての視覚補助具の有効性」

小林 秀之（筑波大学人間系 准教授）

森 まゆ（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター 助教）

「視覚特別支援学校における支援技術活用の指導」

山口 崇（筑波大学附属視覚特別支援学校 教諭）

4. 運動障害（中会議室 202）

進 行：名川 勝（筑波大学人間系 講師）

「肢体不自由学生の学修支援に役立つテクノロジーの活用」

奥 英久（神戸学院大学総合リハビリテーション学部 教授）

「運動障害学生を支援するテクノロジー

ー大学への進学を見据えた取り組みを中心にー（仮）」

類瀬 健二（筑波大学附属桐が丘特別支援学校 教諭）

15 時 10 分 休憩（20 分）

15 時 30 分 障害のある社会人による座談会「学生時代を振り返って」（中ホール 300）

進 行：竹田 一則（筑波大学人間系 教授・障害学生支援室長）

話題提供者：青柳 まゆみ（筑波大学障害学生支援室 助教）

中野 聡子（広島大学アクセシビリティセンター 特任講師）

陳 盈如（東京大学バリアフリー支援室 教務補佐員）

17 時 00 分 閉会

12. 申し込み方法：

①高等教育機関の教職員

同封の資料「参加申し込み方法について」に従って、日本学生支援機構障害学生支援課のウェブサイトから申し込み画面にログインし、必要事項を入力・送信してお申し込みください。

なお、申し込み手続きの完了直後に、手続きの完了を知らせる自動送信メールが届きますので、必ずご確認ください。

メールが届かない場合には手続きが完了していないことが考えられますので、下記問い合わせ先に連絡をして、必ず手続きの完了をご確認ください。

②関連機関（高等学校を含む）の教職員、関連企業関係者、学生等

参加を希望する旨、所属、職名、学年（学生の場合）、氏名、電話番号と共に筑波技術大学までメールでご連絡ください。（送信先 krk-net@ad.tsukuba-tech.ac.jp）
折り返し発信元アドレスへメールにてご連絡いたします。

①、②共に 申し込み締切日：

平成 25 年 12 月 3 日（火曜日）→12 月 10 日（火曜日）に延長

【注意事項】

※ ①は、申し込み手続きの完了をもって参加の決定とします。手続き完了以後、日本学生支援機構より連絡はいたしませんので、当日会場に直接お越しください（セミナーは希望のとおりに参加できます）。

②は、筑波技術大学より届くメールによる受付完了の連絡を必ず確認してください。

※ セミナーの参加希望について、参加を希望するセミナーを記入してください。

なお、セミナー及び展示コーナーについて、時間内の出入りは自由です。

※ パソコン要約筆記、手話通訳、資料の電子データ・点字版、座席の指定・誘導等を希望される方は、具体的なお希望内容を参加申込書にご記入ください。

※ 申し込み者数が定員に達し次第、受付を締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

※ 参加申込書にご記入いただいた個人情報は、受付名簿の作成に使用するとともに、報告に関する資料作成に個人を特定できない状態で使用し、その他の目的には利用いたしません。

また、スタッフが各会場の写真撮影及び録音を行いません。撮影した写真は報告に関する資料及びウェブサイトへの掲載用として、録音した内容は報告に関する資料作成の参考として、それぞれ個人を特定できない状態で使用し、その他の目的には利用いたしません。

【本件問い合わせ先】

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課（担当：麻生・柳川）

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1 TEL：03-5520-6173 FAX：03-5520-6051